

推 薦 書

一般社団法人 公認心理師の会

理事長 殿

氏 名 _____

上記の者は、医療領域における心理臨床実践のコンピテンスについて、一定の基準を満たしていると考えられるため、「医療専門公認心理師」に推薦いたします。

※推薦者が複数名で推薦書が複数枚に渡る場合、評価をご担当いただくコンピテンスの担当欄にチェック(✓)を入れてください。推薦者がお一人による1枚の推薦書の場合は、担当欄へのチェック(✓)は不要です。

カテゴリー	コンピテンス	コンピテンスの詳細	担当欄 (※)
I. 科学者－実践家の基礎	心理師としての倫理	- 患者の主体性や尊厳を尊重している - 倫理的配慮を実践している - 情報を適切に取り扱っている	
III. チーム医療	組織アセスメント	- 組織（医療機関、所属部署）のアセスメント（心理的援助のニーズや指示伝達系統の把握）ができる - 組織の一員としての責務を果たす態度を備えている（会議や職員研修の参加など） - 社会全体における実践の位置づけを、社会動向・政策動向を把握しつつ俯瞰できる態度を備えている	
	他職種とのコミュニケーション	- コンサルテーション技能を備えている - 他職種とのコミュニケーション能力を備えている - 精神症状や心理的支援に関する説明能力を備えている	
	他職種理解	他職種のアセスメントができる	
	情報収集と共有	- 適切なカルテ記載ができる - カルテ、患者、他職種等から情報を収集することができる - いつ誰にどの情報をどこまで伝えるかを適切に判断し、情報を共有することができる - 遅延なく的確に情報共有する態度を備えている	
	チームワーク	- チーム運営の支援ができる - 医療領域でチームワークを築くことができる（チームSTEPPSなど） - 当事者と組織両方のニーズに即して支援する態度を備えている - チーム内キーパーソンを特定することができる - 医療専門職としての自覚として、自己完結、自己責任の態度を備えている - 組織をマネジメントすることができる - チーム内での心理師の役割を理解する態度を備えている - チームの方針に沿った役割を遂行する態度を備えている	
IV. 心理アセスメント	精神症状のアセスメントと鑑別	- 精神症状と身体症状の基本的な鑑別ができる - 人格・情動・精神症状のアセスメントができる - 特に大うつ病、統合失調症、双極性障害のアセスメントができる - 精神症状のリスク評価ができる	
	心理検査	- テストバッテリーを適切に組むことができる - 各種心理検査の選択と実施ができる（構造化面接法、発達および知能検査、人格検査、認知機能検査、その他の心理検査、各種心理評定尺度）	
	所見作成とフィードバック	所見作成とフィードバックができる	
V. 心理的介入	精神症状への介入	精神症状に対する基本的な対応ができる（認知行動療法など）	
	当事者・家族とのコミュニケーション	- 患者・家族に適切に情報提供するためのコミュニケーションスキルを備えている - 患者・家族と適切にコミュニケーションができる - 心理的支援の内容を言語化し、患者・家族に伝えることができる - 共同意思決定を推進することができる	

推 薦 者

所属機関 _____

職 名 _____

日 付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏 名 _____ 印 _____